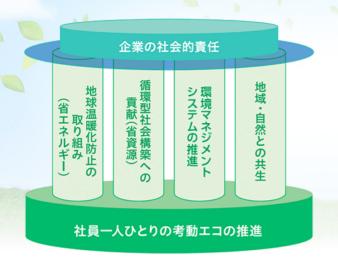
地球環境問題に対する基本的な考え方



JR西日本は、 グループ会社と一体となって 地球環境保護に取り組み、 持続的発展が可能な 社会の実現に貢献します。

行動指針

- I. 私たちは、地球環境にやさしい企業グループを目指し、資源の 適正かつ有効な活用を図ります。
- ■. 私たちは、地球環境保護のために、技術開発や創意工夫に努めます。
- ■. 私たちは、常に地球環境保護を意識して行動します。

生物多様性保全の取り組み

- I. 事業活動で生態系への影響を低減する取り組み
- Ⅱ. 生物(植物)の潜在能力との協働

世界は今、気候変動、使用済みのプラスチック問題や生物多様性保全など地球規模での環境問題に対し、将来の持続可能な社会の実現に向けた課題解決に取り組んでいます。JR西日本グループは、地球環境保護が企業の重要な社会的責任であるとの認識のもと、企業活動と地球環境との相互作用を理解し、グループー体となって持続的発展が可能な社会の実現に努めています。

取り組みの全体像として、「基本的な考え方」「行動指針」を策定し、上図のとおり社員一人ひとりが地球環境保護を意識して創意工夫する「考動エコ」をベースとし、4つの柱を基本にさまざまな地球環境保護活動を行っています。

これらの取り組みを具体化するため、JR西日本グループ中期経営計画2022にあわせ環境目標を設定しています。鉄道は他の輸送機関と比べて、エネルギー効率がよく地球環境に優しい乗り物ですが、JR西日本グループは車両をはじめ鉄道設備のさらなる省エネルギー化を追求することに加え、鉄道をより多くのお客様に選択して頂けるような工夫を重ねています。JR西日本グループではこれからも輸送機関全体における CO_2 排出量の削減、循環型社会構築への貢献および自然や生態系への影響の抑制など、環境負荷の低減に努めることで持続的発展が可能な社会を実現し、将来にわたり地球の笑顔が見られるよう取り組んでまいります。



推進責任者 執行役員 鉄道本部 イノベーション本部長 **久保田 修司**

地球環境保護活動の推進体制

JR西日本では、地球環境保護は企業の社会的責任であるとの認識のもと、JR西日本グループ全体で積極的に取り組むため、「地球環境問題に対する基本的な考え方」を定め、社長を委員長とした「地球環境委員会」を設置しています。地球環境委員会は、代表取締役、業務執行取締役、本社内執行役員、及び技術理事等で構成しており、さらには、2名の常勤監査役がオブザーバーとして出席し、さまざまな地球環境問題に関する対応方針、実施計画、目標設定等を審議しています。

また、環境目標の達成に向けた具体的な取り組みを部門ごとに推進するため、「鉄道部会」(鉄道事業部門)、「創造部会」(ホテルや物販飲食等の創造事業部門)、「考動エコ部会」(JR西日本グループ全体)の3つの部会を設置するとともに、お客様に一番近い現場の取り組みを支援・指導する支社等においても、支社長等を委員長とする「支社等地球環境委員会」を設置し、現場の環境マネジメントシステムの推進に重点を置き、取り組みを進めています。

地球環境委員会



※地球環境推進委員会は必要の都度、開催しています。

委員会および部会		具体的な取り組み内容
地球環境委員会		・地球環境問題に対する会社方針の審議 (事務局:全社的取組計画の策定・推進,教育・指導)
	鉄道部会	・鉄道部門における取り組みの推進 ・鉄道系グループ会社の取り組みを推進 ・支社等地球環境委員会の支援
	省エネルギー専門部会	・列車運転用エネルギーの削減 ・オフィス等の消費電力の削減 ・駅・ビル等の設備電力の削減
	駅ごみ・列車ごみ専門部会	・駅ごみ,列車ごみの削減とリサイクル率向上 ・駅,列車で販売する容器,内容の見直し,推進 ・定期券,切符類のリサイクル
	鉄道資材リデュース・リユース・ リ サイクル専門部会	・鉄道資材のリサイクル率向上 ・各種製品のリデュース・リユース・リサイクルの推進
	特定化学物質専門部会	・有害物質使用量削減・特定化学物質の移動排出量の届出・PCBの適正保管と特措法に基づいた届出および適正処理
	考動エコ部会	・社員が自ら考え,自ら具体的な省エネ,省資源の実践行動を 展開する「考動エコ」の全社的な取り組みの推進 ・各部会等との連携した取り組みの推進 ・鉄道部会及び創造部会に主管部を持たないグループ会社の 取り組みを推進
	創造部会	・創造部門における取り組みの推進 ・創造系グループ会社の取り組みを推進